

PRESS RELEASE

2026年3月6日
株式会社トレードワルツ

株式会社トレードワルツ、「フィジカルインターネットアワード 2026」優秀賞を受賞

株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下、トレードワルツ）は、一般社団法人フィジカルインターネットセンター（以下、JPIC）が主催し、経済産業省・国土交通省が後援する「フィジカルインターネットアワード 2026（以下、PI アワード）」社会実装部門において優秀賞を受賞しました。



表彰式の様子

本アワードは、物流業界が直面する物流 2024 年問題や人手不足、環境対応といった深刻な構造課題を、日本の物流を次なるステージへ導く「未来を拓くためのチャンス」と捉え、創設されたものです。荷主、物流事業者、IT ベンダーなど多様なプレイヤーが業界の壁を越えて連携し、フィジカルインターネット（以下、PI）の社会実装を推進する先進的な挑戦を称えるとともに、その知見を広く社会へ共有することで、物流の持続可能性と競争力のさらなる強化を目指しています。

受賞内容

<社会実装部門 優秀賞>

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」

当社の取り組みは、貿易情報の統合・連携を通じてサプライチェーン全体の可視化・効率化を実現し、業界横断でのデジタル連携を促進する点が高く評価されました。

特に、PI 実現のボトルネックとなっていた国境を越える貿易プロセスの情報分断を解消し、荷主・物流事業者・銀行・保険といった貿易に関わる多くの関係者が、機密性の高い情報を安全に共有できる産業横断のデータ基盤としての役割が、物流 2024 年問題の解決に資するものと期待されています。

具体的には、NACCS や本船動静との自動連携による情報のリアルタイム資産化に加え、蓄積された構造化データの利活用を可能にすることで、単なる事務効率化に留まらない、持続可能な国際物流の意思決定を支える仕組みを構築している点が、PI の社会実装における先進事例として認められました。

株式会社トレードワルツ

代表取締役執行役員社長 兼 CEO 佐藤 高廣

「このたびの受賞を光栄に存じます。PI 実現において、国境を越える貿易プロセスの情報分断はサプライチェーン全体のアキレス腱となってきました。当社の推進する貿易のデジタル化と標準化が、この課題を解決し PI の社会実装に不可欠な役割を果たすと評価いただいたことは大きな励みとなります。今後も業界の垣根を越えた協働を主導し、『日本発の世界標準』となるデータ基盤構築を通じて、安全で持続可能なエコシステムの形成に貢献してまいります。」

■トレードワルツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を SaaS として運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資に

より、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）
広報担当窓口 担当：菊地、柘田 Email：info@tradewaltz.com